

工作機械工業 収益状況集計

(2014年度 第2四半期)

会員企業のうち2014年11月中旬迄に決算短信を公表している専業比率30%以上の上場企業17社を集計。
調査対象企業における専業比率（2014年度第2四半期時点）は、90.2%。

表1 連結決算の概要

(単位：百万円・%)

	14年度	14年度	14年度	前年同期比	13年度
	I 期	II 期	I ~ II 期		I ~ II 期
売上高	167,361	220,049	387,410	+19.5	324,081
売上総利益	48,004	63,519	111,523	+26.1	88,409
売上総利益率	28.7	28.9	28.8		27.3
営業利益	6,026	17,894	23,920	+179.2	8,566
営業利益率	3.6	8.1	6.2		2.6
経常利益	5,379	21,429	26,808	+151.6	10,655
経常利益率	3.2	9.7	6.9		3.3
当期利益	3,647	17,089	20,736	+149.9	8,297
当期利益率	2.2	7.8	5.4		2.6
総資産	1,093,173	1,141,209	1,141,209	+12.3	1,016,388
純資産	596,292	622,663	622,663	+15.1	541,002
自己資本比率	54.5	54.6	54.6		53.2
自己資本 当期純利益率 (ROE)	2.4	11.0	6.7		3.1

(注) 自己資本当期純利益率 (ROE) は年率換算値

表2 損益状況一覧 (連結・I ~ II 期計・前年同期比)

(単位: 社)

	増 加	減 少	合 計
売上高	15	2	17
売上総利益	13	4	17
営業利益	12 (1)	5 (1)	17 (2)
経常利益	12 (1)	5 (1)	17 (2)
当期利益	11 (0)	6 (2)	17 (2)

※()内の数字は、赤字企業数。赤字幅が縮小した場合は「増加」、赤字幅が拡大した場合は「減少」となる

2. 2014年度通期見通しの概要

表3 【第2四半期時点】連結業績予想の概要

(単位:百万円・%)

	2014年度通期見通し			2013年度実績
	第1四半期時点	第2四半期時点	前年度比	金額、比率
売上高	811,375	817,927	+12.4	727,905
営業利益	62,121	62,886	+75.4	35,848
営業利益率	7.7	7.7		4.9
経常利益	63,145	64,197	+53.7	41,760
経常利益率	7.8	7.8		5.7
当期利益	46,235	46,900	+50.5	31,170
当期利益率	5.7	5.7		4.3

表4 【第2四半期時点】連結業績予想の増減(売上高、経常利益)

通期 (対前年度比)	増収増益	12社	増収減益	2社
		減収増益	0社	減収減益

◎第1四半期時点からの修正理由

【売上高、経常利益とも上方修正 …4社】

- ・ 内需、外需とも好調な受注環境を反映
- ・ 販売が増加したことに加え、為替の影響もあって増加
- ・ IT関連向け出荷に加え、自動車部品向け新製品が寄与
- ・ 繰延税金資産の計上により、税金費用が減少したため
- ・ 原価率の改善、固定費の圧縮の効果

【売上高横ばい、経常利益は下方修正 …1社】

- ・ 自動車関連メーカー向け専用工作機械の採算の悪化

【売上高、経常利益とも下方修正 …5社】

- ・ 損益面では、為替の影響による増加要因はあるものの、工作機械関連事業部門の一部システム案件の採算悪化や生産体制の見直しが遅れたことによる採算悪化、及び輸送機器関連事業の製造費用増加や現地法人の生産がずれ込むことにより下方修正
- ・ 受注を予定していた大口案件の発注時期が遅れているため
- ・ ①新基幹情報システムの導入に伴う混乱の影響や大口顧客の生産調整の影響から売り上げが下振れ、②円安により海外からの調達コストが増加、③売り上げが下振れする中での人件費や電力料等が増加したこと、④海外子会社において大口顧客の生産の急激な落ち込みにより、業績が低迷し、赤字を計上したこと、等により損益が圧迫
- ・ 売上見込み減少に加え、退職給付債務の算定基礎率の変動の影響による製造原価及び販管費の増加見込み等により、下方修正
- ・ 顧客の国内設備投資の見直しの影響により、来期に納期がずれ込むことが見込まれるため

3. 工作機械事業の概要

表5 工作機械事業の概要 (17社)

(単位:百万円・%)

	14年度		13年度 I～II期
	I～II期	前年同期比	
売上高	349,513	+21.9	286,630
営業利益	25,145	+158.5	9,728
営業利益率	7.2		3.4
専業比率	90.2		88.4

表6 【参考】工作機械事業の概要 (26社)

(単位:百万円・%)

	14年度		13年度 I～II期
	I～II期	前年同期比	
売上高	531,489	+20.5	441,168
営業利益	41,319	+179.4	14,791
営業利益率	7.8		3.4
専業比率	25.3		23.4

※表5の対象企業17社に加え、セグメント情報を公表している
専業比率30%以下の会員企業9社を加えた26社で集計

【調査対象会員企業 (順不同)】

(専業比率30%以上の集計対象企業)

エンシュウ株式会社
 浜井産業株式会社
 豊和工業株式会社
 黒田精工株式会社
 株式会社牧野フライス製作所
 DMG森精機株式会社
 株式会社岡本工作機械製作所
 大阪機工株式会社
 オークマ株式会社
 株式会社桜井製作所
 西部電機株式会社
 株式会社ソディック
 スター精密株式会社
 高松機械工業株式会社
 株式会社滝澤鉄工所
 株式会社ツガミ
 株式会社和井田製作所

(専業比率30%以下の集計対象企業)

株式会社アマダ
 ブラザー工業株式会社
 富士機械製造株式会社
 株式会社不二越
 株式会社ジェイテクト
 倉敷機械株式会社 (倉敷紡績株式会社)
 株式会社三井ハイテック
 株式会社オーエム製作所 (ダイワボウホールディングス)
 東芝機械株式会社